

単元名 読んで、かんじたことをつたえ合おう

配当時間 14時間

- 単元の目標 (1) 身近なことを表す語句の量を増やすことができる。
 (2) 場面の様子に着目して、登場人物の行動を想像するとともに、文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。
 (3) 文章を読んで感じたことを共有し、物語の感想を交流しようとする。

標準的な展開例

02010310_001

【教材名】スーホの白い馬 (下 P.107～P.126)

【準備等】モンゴルの写真、地図、ワークシート

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 2年生で学習した物語文を振り返り、学習の見通しをもつ。</p> <p>★どんなお話か想像しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○これまでに読んだお話を思い出し、心に残っていることを出し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・「ふきのとう」 ・「スイミー」 ・「お手紙」 ・「わたしはおねえさん」 ○扉のリード文や挿絵を参考にして、どのような物語か想像する。 <p>○物語を読み、心に残ったことを発表し合う活動をすることを確認する。</p> <p>2～3 「スーホの白い馬」を読み、大体の内容を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教師またはCDの範読を聞く。 <p>○登場人物や出来事などを簡単に確認する。</p> <p>○初発の感想を書き、交流する。</p> <p>4～8 話の順に人物の言動を確かめ、そのときの人物の様子を想像する。</p> <p>★人物の様子が表れている言葉に気を付けて読み取ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教科書(P.124)「お話のじゅんにたしかめる」で、どの順で読み取るのか確かめる。 ○スーホの人物像と、白馬との出会いを読み取り、様子を想像する。 ○ひつじをおおかみから守る白馬について読み取り、様子を想像する。 ○殿様に白馬を取り上げられたスーホについて読み取り、様子を想像する。 ○殿様のところから逃げてスーホのところに帰ってきた白馬について読み取り、様子を想像する。 ○馬頭琴を作るスーホについて読み取りをし、様子を想像する。 <p>9～11 強く心に残ったところを交流する。</p> <p>★強く心に残ったことを発表しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○スーホや白馬の行動や会話で、強く心を動かされたところにサイドラインを引く。 ○強く心を動かされたところをノートに書き抜き、その理由も書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ心に残ったのかを発表させ、読み取り、想像を広げた学習をしたことを想起させる。 ・モンゴルという国の話であることや馬が出てくる話であることなど、自由に想像させ、興味をもたせる。 ・いろいろな国の昔話や民話のコーナーを作って、いつでも読めるようにしておく。 ・これまでの学習のまとめであることを意識させる。 ・モンゴルという国の昔話であることを知らせ地図やモンゴルの写真などを提示しながら読む。 ・挿絵を使いながら、時間の経過ごとにどのような出来事があったのかを確認させる。 ・二次元コードで、馬頭琴の画像を見せるとよい。また、馬頭琴の音色などがあれば聞かせるとよい。 ・心に残ったことをノートに書かせる。 ・書いた感想をペアやグループで発表させる。 ・6つの順で、それぞれの場面のスーホや白馬の気持ちと様子を読み取ることを、理解させる。 ・前書きに着目させ、物語を説明し、引き込ませる役割を果たしていることを押さえる。 ・スーホの人物像を押さえることで、後で殿様との対比につなげられるようにする。 ・「心をこめてせわした」「ひつしにふせいでいました」「兄弟に言うように」など、スーホと白馬のつながりの深さが分かる文にサイドラインを引かせ、読み取りやすくする。 ・白馬の気持ちにも着目させ、お互いの気持ちの強さを感じとらせる。 ・馬頭琴を作る前、作っている最中、完成した後のスーホの気持ちを考えさせる。 ・馬頭琴の音色などを聞かせ、どのような気持ちが伝わるかを考えさせてもよい。 【評】人物や場面の様子を読み取る活動を通して、登場人物の行動を具体的に想像する「思考・判断・表現」を評価する。 ・いくつか線を引かせ、その中から選ばせてもよい。 ・読み取ったスーホや白馬の気持ち、場面の様子が感想に表れるように、理由をしっかりと書かせる。 【評】感想と理由を書く活動を通して、身近な

<p>○感想を交流する。</p> <p>12～14 世界の昔話や民話を読み、強く心に残ったところを交流する。</p> <p>○学習を振り返る。</p> <p>○世界の昔話や民話を読む。</p> <p>○強く心に残ったところとその理由をメモに書く。</p> <p>○グループで感想を交流する。</p>	<p>ことを表す語句の量を増やし、文章の中で使う「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書(P.125)「話し方のれい」を参考にして、グループで交流させる。 ・聞き手は感想を聞いて思ったことを伝えるようにし、どのような場面で友達がどのように感じたかなどを考えさせる。 <p>【評】感想を交流する活動を通して、文章を読んで感じたことや分かったことを共有する「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>【評】感想を交流する活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書(P.125)「ふりかえろう」や(P.126)「たいせつ」などを読み、読んで感じたことを伝え合うときに気を付けることなどを振り返る。 ・昔話や民話のコーナーや図書館を活用し、自分が興味をもった外国の物語を読ませる。 ・教科書(P.126)「この本読もう」も参考にする。 ・メモができるワークシートを用意し、学習してきたことを生かして、心に残ったところと理由を書けるようにする。 ・グループで交流し、さまざまな本があることに気付かせる。
---	---

【 備 考 】